

学校評価アンケートの結果について

- 1 実施時期：平成30年9月21日～10月1日
- 2 対象者：保護者及び学校評議員、高等部生徒
- 3 実施方法：高等部生徒用
 - 15項目について次の5段階で回答
 - 保護者及び学校評議員用
 - 35項目について次の5段階で回答
 - A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない
 - D：まったくあてはまらない E：わからない

4 結果

(1) 回収率

	配付数	回収数	回収率
生徒	14	14	100%
保護者及び学校評議員	36	31	86.1%

(2) 高等部生徒によるアンケート結果

- 個々の項目について、学級担任がわかりやすく説明を加えながら生徒に回答してもらったが、回答欄のA欄からE欄に順番に回答されたりと、内容に基づいた回答ではないと思われる回答があった。
- 昨年度との比較では、15項目のうち12項目で「わからない」の回答が減り、その分肯定的な回答が増えている。
- 13「私は、学校へ行くのが楽しい」の問いには、4人が「あまりあてはまらない」と回答した。
- 14「私は、先生方からいろいろなアドバイスをもらうことができうれしい」の問いには、「あてはまらない」と「わからない」の回答が増えた。

(3) 保護者・学校評議員によるアンケート結果

.....別添参照

- 全ての項目で肯定的な回答が70%以上であり、2項目以外は肯定的な回答が80%以上であった。
- 24「学校では、体罰の防止に努めている」と25「学校ではいじめや差別を許さず、厳しく対応している」の2つは「わからない」との回答が多く、肯定的回答が70%以上80%未満であった。
- 11「学校は、進路に関する連絡や情報提供を児童生徒や保護者に向けて適切に行なっている」が、昨年度に比べ「わからない」の回答が減り、その分「あてはま

る」の肯定的な回答が増えた。

- 一方、5「学校は、保護者（地域）が先生にいろいろなことを相談しやすい雰囲気である」、8「学校は、自校の教育活動に関する自己評価を保護者（地域）へわかりやすく伝えている」、11「学校は、進路に関する連絡や情報提供を児童生徒や保護者に向けて適切に行なっている」、12「学校の先生と児童生徒あるいは保護者との懇談が十分に実施されている」、14「学校の雰囲気がよく、教職員は協力し合って生き生きとしている」、18「学校の先生は、専門的な知識が豊かで教師としての資質を身につけている」は複数の保護者から否定的な回答を得た。

5 考察とまとめ

(1) 高等部生徒によるアンケート

- 13「私は、学校へ行くのが楽しい」の問いには、4人が「あまりあてはまらない」との回答について、不登校傾向のある生徒が「あまりあてはまらない」と回答した。彼らは授業に出席する必要性を感じ、昨年度に比べて学校に登校している日数が増えている。楽しいと感じないが、努力して授業に出席している段階と考えられ、努力して出席してよかったと感じられるように支援したい。
- 14「私は、先生方からいろいろなアドバイスをもらうことができうれしい」の問いには、「あてはまらない」と「わからない」の回答が増えていることについて、アドバイスをもらってすぐに結果がわかるものばかりでない。それぞれのアドバイスがどのような意味をもち、何につながっていくのかをきちんと伝え、その後をフォローしていくことをていねいに行っていくことが必要と考える。

(2) 保護者・学校評議員によるアンケート

- 全体的には肯定的な回答が多数を占めていることから、当校の教育に対して概ね妥当であると受け止めていただいているといえる。
- ただし、複数の否定的回答があったことから、一人一人のニーズに corres pond することがまだまだ不十分であったと反省し、改善していく必要がある。
- また、「学校の先生は、専門的知識が豊かで教師としての資質を身につけている。」「学校の授業は、児童生徒一人一人に合った教材・教具が準備されている。」の2項目については、80%を超える肯定的回答を得ているが、昨年度に比べて減少している。教育活動を展開するうえで基盤となる重要なことであることから、結果を真摯に受け止め向上するよう努力したい。
- 加えて、保護者・学校評議員によるアンケートについて、肯定的な回答率が80%以上であっても、詳細に見てみると、昨年度に比べて「よくあてはまる」が減少し、「あてはまる」が増加しているものが25項目あり、現状に満足するだけでなく、さらに教育活動の改善と発展、教育水準の向上を図り、児童生徒や保護者、地域から信頼され魅力ある学校に改善していきたい。